

コンピュータ将棋「習甦」

竹内 章

- 多層構造を持つ評価関数に特徴
 - 盤面全体の駒の利き、駒の位置(持ち駒)、および手番から、自玉と相手玉の安全度を評価
 - 安全度の非線形関数として駒の価値を評価
 - 自玉の安全度が高いほど自駒の価値が高くなるが、安全にし過ぎても効果は飽和し、危険になると価値が零に近づいていくような関数形
 - 駒の価値に駒の位置関係を加味して、評価値を算出
 - 安全度の多項式近似により局面の安定度も算出

